

松本市で開催された長野県総合防災訓練に参加

10月23日(日)、松本市で開催された長野県総合防災訓練に長野県警備業協会も参加しました(全80団体が参加)。今回の訓練は、糸魚川・静岡構造線断層帯を震源とするマグニチュード8.5の地震が発生し、市内で震度7を観測したとの想定で大規模災害への支援・対策を確認しました。当協会は、中信地区会の災害支援対策隊を中心に部隊を編成し、ライフライン復旧車両の誘導業務に従事しました。



竹花会長から部隊への挨拶



手旗による交通誘導訓練

本訓練に先立ち、災害支援対策隊本部長である竹花会長挨拶の後、協会隊長、副隊長の指揮により、手旗による交通誘導等の訓練を実施しました。



ライフライン復旧訓練の開始



復旧車両の各ブースへの誘導



配置隊員に無線指示をする地区隊長



通信復旧車両等誘導後の配置状況

長野県警備業協会は、長野県、長野県警、松本市、長野市、小諸市、上田市、佐久市、飯田市と災害支援協定を締結しています。